

第5回 グランプリ 2017



NPO法人 黒潮実感センター (高知県)

「高知県西南端柏島・島が丸ごと博物館(ミュージアム) 持続可能な里海づくり」

温帯域にありながら生物多様性の宝庫である高知県柏島。その豊かな自然と、そこに住む暮らしを「まるごと博物館」と捉え、持続可能な里海モデルの創出を目指す活動。漁業や観光の視点から生物多様性に取り組み保全と利活用を両立している。

第4回
グランプリ
2015

一般社団法人エゾシカ協会(北海道)
「エゾシカの先進的な資源活用促進事業」

第3回
グランプリ
2013

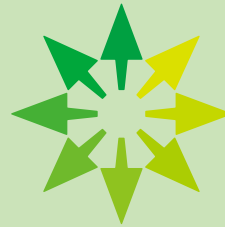
特定非営利活動法人田んぼ(宮城県)
「津波に被災した田んぼの生態系復元力による復興」

第2回
グランプリ
2011

日本雁を保護する会(宮城県)
「湿地環境の指標種としてのガン類の保護 およびその生息環境の保全・復元と人間との共生をめざす活動」

第1回
グランプリ
2009

NPO法人アサザ基金(茨城県)
および関係企業等
「地域企業との協働による谷津田の保全」



生物多様性
日本アワード

Japan Awards for Biodiversity 2019

生物多様性日本アワード(国内賞)は、2010年に生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が名古屋で開催され、また当財団が設立20年を迎えたことを記念し2009年に創設しました。生物多様性の保全と持続可能な利用に関する優れた取り組みを顕彰する生物多様性みどり賞(国際賞)と隔年で開催しています。本年は「第6回生物多様性日本アワード」を実施します。

【公益財団法人イオン環境財団】

1990年、イオン環境財団は「お客さまを原点に、平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと設立されました。環境活動に取り組む団体への助成支援、国内外での植樹活動、生物多様性の保全に貢献した団体・個人への顕彰、環境教育の推進を主な事業として、28年間さまざまな環境・社会貢献活動を継続しています。

(お問い合わせ)

公益財団法人イオン環境財団

第6回 生物多様性日本アワード 事務局

〒261-8515 千葉市美浜区中瀬1丁目5番地1
TEL:043-212-6022 E-mail:ef@aeon.info

<https://www.aeon.info/ef>



第6回
生物多様性
日本アワード

Japan Awards for Biodiversity 2019

第6回生物多様性日本アワード **応募要項**

生物多様性日本アワードは、生物多様性に関する顕著な貢献が認められ、今後も発展的影響をもたらすことが期待される日本国内在住の団体・個人による取り組み・研究開発を顕彰するものです。

対象となる取り組み

生物多様性の保全

森林、河川、沿岸域等の生態系の保全、野生生物の保護や生息・生育地の保全、保護地域等の自然再生・維持管理、ならびに、それらの地域の有機的なつながりの確保に寄与する取り組みおよびそれらに関する研究開発

生物多様性の持続可能な利用

生物多様性により供給される食料・生物資材やサービス・景観等、自然の恵み(生態系サービス)の持続可能な利用に寄与する取り組みおよびそれらに関する研究開発

生物多様性の普及・啓発

生物多様性の保全と持続可能な利用に関する普及と理解促進、学習、教育等の推進に寄与する取り組みおよびそれらに関する研究開発

主催・後援

主催：(公財)イオン環境財団
後援：環境省、国連生物多様性の10年日本委員会

顕彰内容

グランプリ1件と優秀賞4件を表彰します。グランプリ受賞者には表彰状と副賞200万円を、優秀賞には表彰状と副賞100万円をそれぞれ贈呈します。

応募資格

日本国内に在住する団体・組織・企業・個人であること。
*複数の団体・組織による共同の取り組みも対象となります。

応募方法

- 1 当財団のホームページより
応募書類一式をダウンロードしてください。

<https://www.aeon.info/ef>



- 2 応募書類に必要事項を記入し、必要書類とともに
ホームページの応募ページから所定のフォームに添付して
ご提出ください。
(応募用紙の書式変更は不可)

- 3 取り組み対象分野の有識者1名(応募団体の構成員および
利害関係者は不可)の推薦状が必要です。

郵送での応募を希望される場合は、下記住所までご送付
ください。持ち込みでの受付はしておりません。

〒261-8515 千葉県美浜区中瀬1丁目5番地1
(公財)イオン環境財団
第6回 生物多様性日本アワード 事務局 宛

応募締切

2019年5月20日(月) 必着

選考

賞の選考は下記の方々からなる審査委員会にて実施します。

〈審査委員長〉

(五十音順、敬称略)

岡田 卓也 (公財)イオン環境財団 理事長

〈委員〉

赤池 学 ユニバーサルデザイン総合研究所 所長

岩槻 邦男 東京大学 名誉教授

鬼頭 秀一 東京大学 名誉教授 星槎大学 副学長

黒田 大三郎 (公財)地球環境戦略研究機関 シニアフェロー

香坂 玲 東北大学大学院 環境科学研究科 教授

南川 秀樹 (公財)イオン環境財団 理事 環境省 元事務次官

結果発表・授賞式

- 1 選考結果は8月に発表します。
- 2 授賞式は**2019年9月26日(木) 14:00~17:00**
国際連合大学にて開催します。
*授賞式については8月頃ホームページに公開予定です。

その他

- 1 本賞および生物多様性に関する多様な取り組みを幅広く
周知するため、受賞した団体・個人の皆様にはイベント
および広報に関するご協力をお願いします。
- 2 応募申請書および審査時に応募者から得た情報は、当
財団の事業の目的以外に使用しません。なお、特に守秘
を要する情報がある場合は申請時にお申し出ください。